

2018年10月期 決算説明会

2018年12月21日

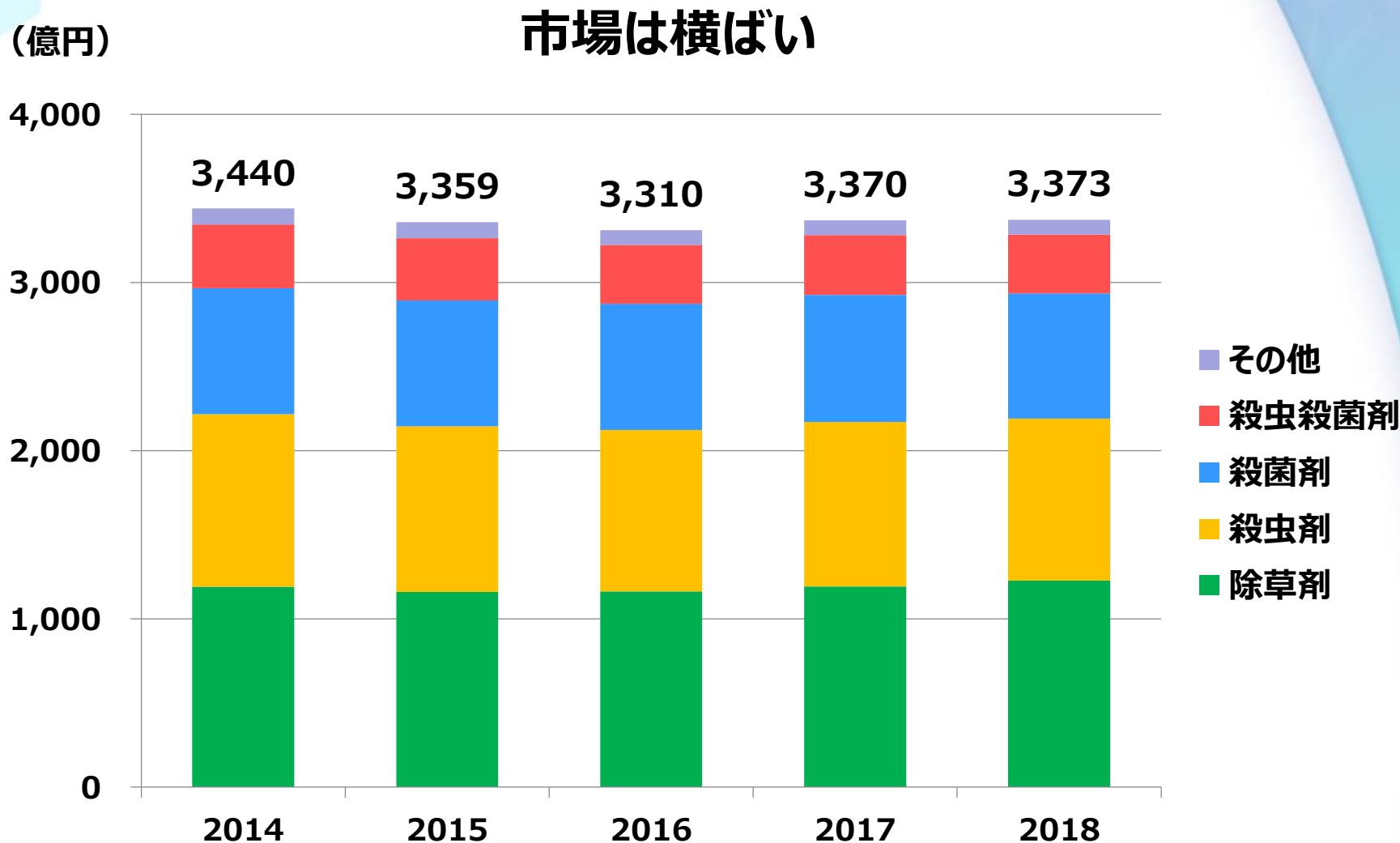
 **クミアイ化学工業株式会社**

本日のアジェンダ

- I. 市場環境
- II. 2018年10月期 実績
- III. 2019年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. CSR活動報告
- VI. 質疑応答

- I. 市場環境
- II. 2018年10月期 実績
- III. 2019年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. CSR活動報告
- VI. 質疑応答

国内農薬市場の動向



国内農業情勢

農業資材の集約化（農薬）

閣議決定

- 農業競争力強化プログラム（2016年11月29日）
- 1. 生産資材費の引き下げ、2. 全農改革

法改正

- 農薬取締法の一部改正（2018年12月1日施行）
- 再評価制度の導入

全農

- 農林水産業・地域の活力創造プランに係る全農自己改革
- 1. ジェネリック農薬、2. 品目集約、3. 担い手直送規格

当社の取組み

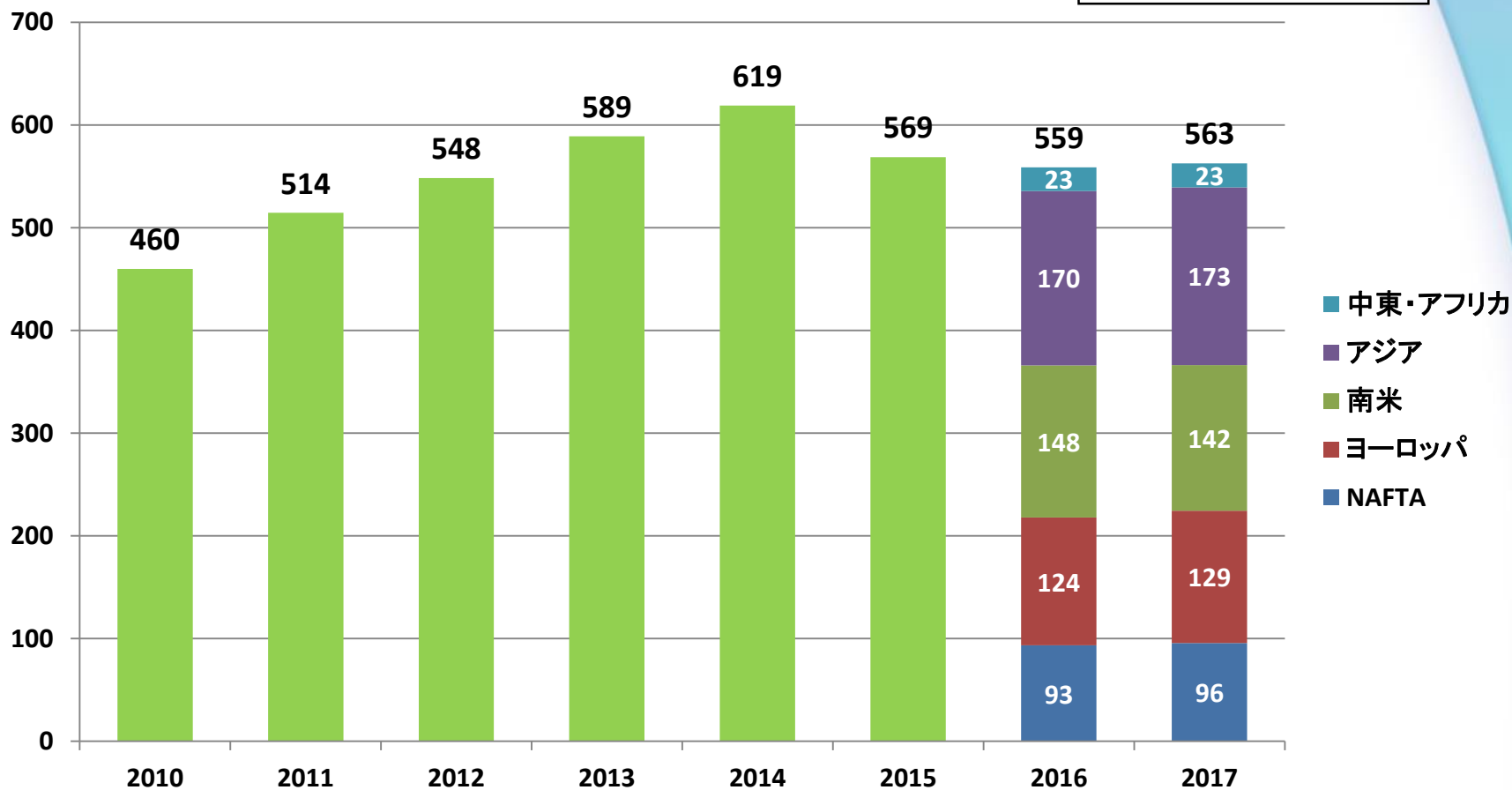
- 農薬は高品質な農産物を安定的に作るために必要不可欠な資材
- 独自技術を用いた生産性向上や省力化への取組み
- 情勢に合わせた取組み（マーケティング部 担い手推進企画課を新設）

世界の農薬市場の動向

堅調に推移

(億ドル)

種子・バイテク製品を除く



出典 : Agbioinvestor

- I. 市場環境
- II. 2018年10月期 実績**
- III. 2019年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. CSR活動報告
- VI. 質疑応答

2018年10月期 連結業績

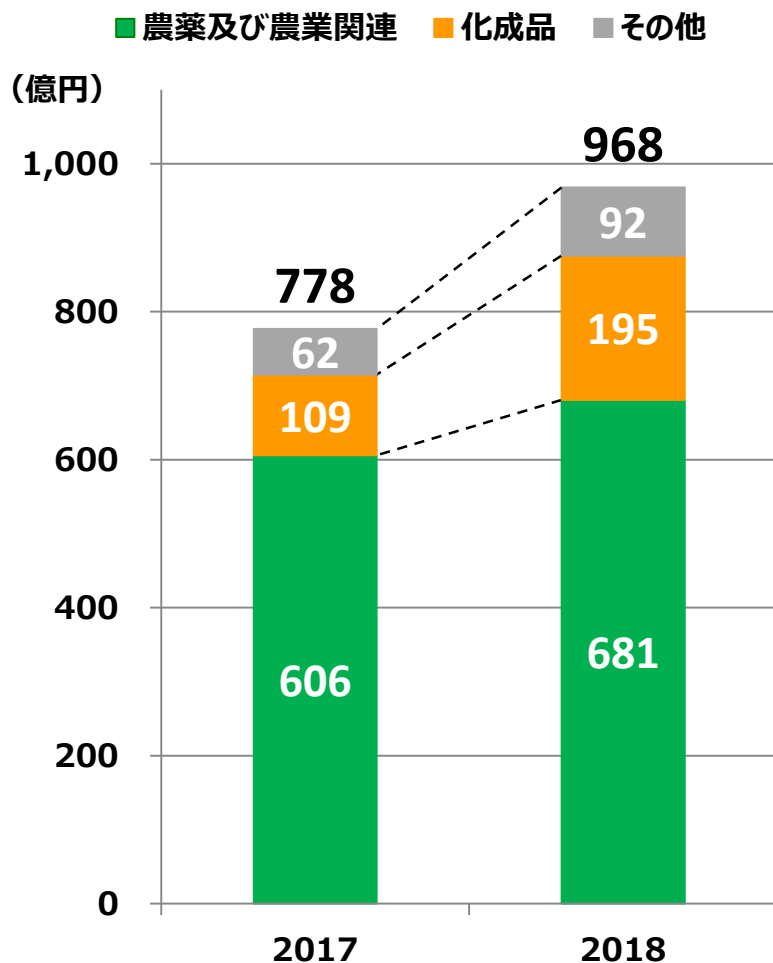
| (億円) | 2017 | 2018 業績予想 | 2018 | 前年比 (増減率) | 予想比 |
|-------------------------|------|--------------|------------------|----------------|-----|
| 売上高 | 778 | 950 | 968 | +190 (+25%) | +18 |
| 営業利益 | 38 | 46 | 56 | +18 (+48%) | +10 |
| 経常利益 | 74 | 64 | 81 | +7 (+9%) | +17 |
| 当期 純利益 ^{*1} | 73 | 45 | 47 ^{*2} | -26 (-35%) | +2 |

*¹親会社株主に帰属する当期純利益

*²保有株式の売却損及び評価損による特別損失を計上

セグメント別売上高

連結売上高



**農薬及び農業関連 +75億円
12%up**

経営統合による新規事業の増加
 アクシーブ、植物成長調整剤が好調に推移
 国内事業は前年並み
 ノミニーは減少

**化成品 +85億円
78%up**

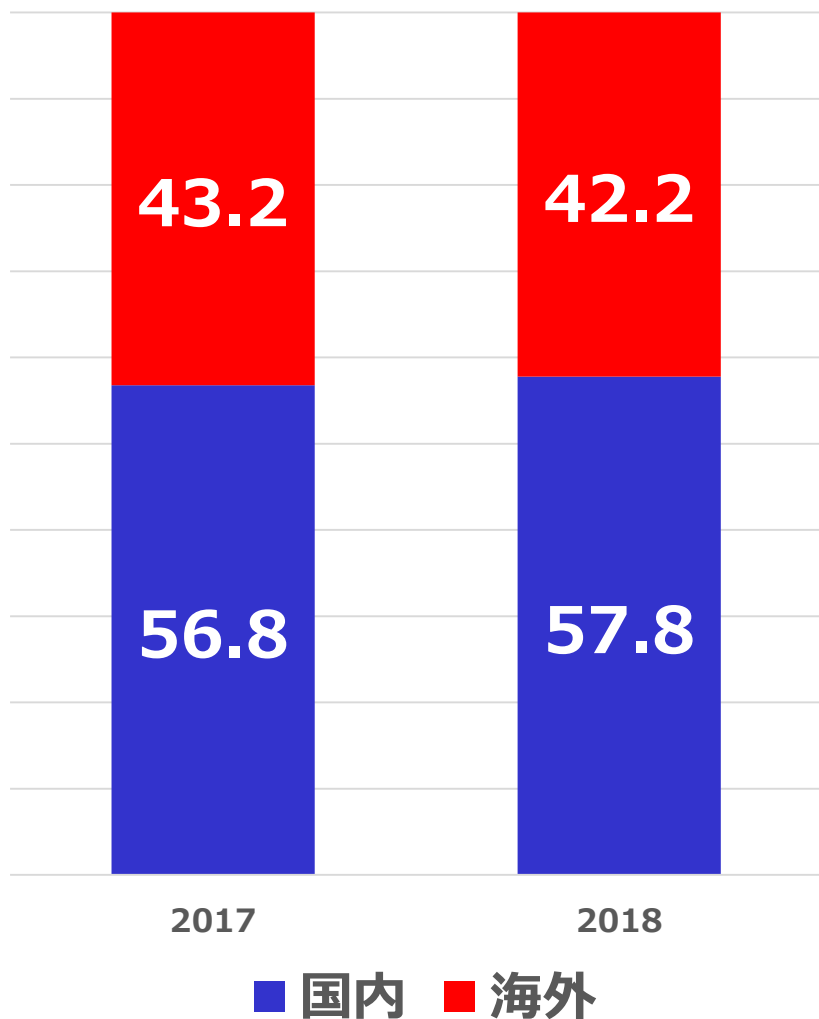
経営統合による新規事業の増加

**その他 +30億円
48%up**

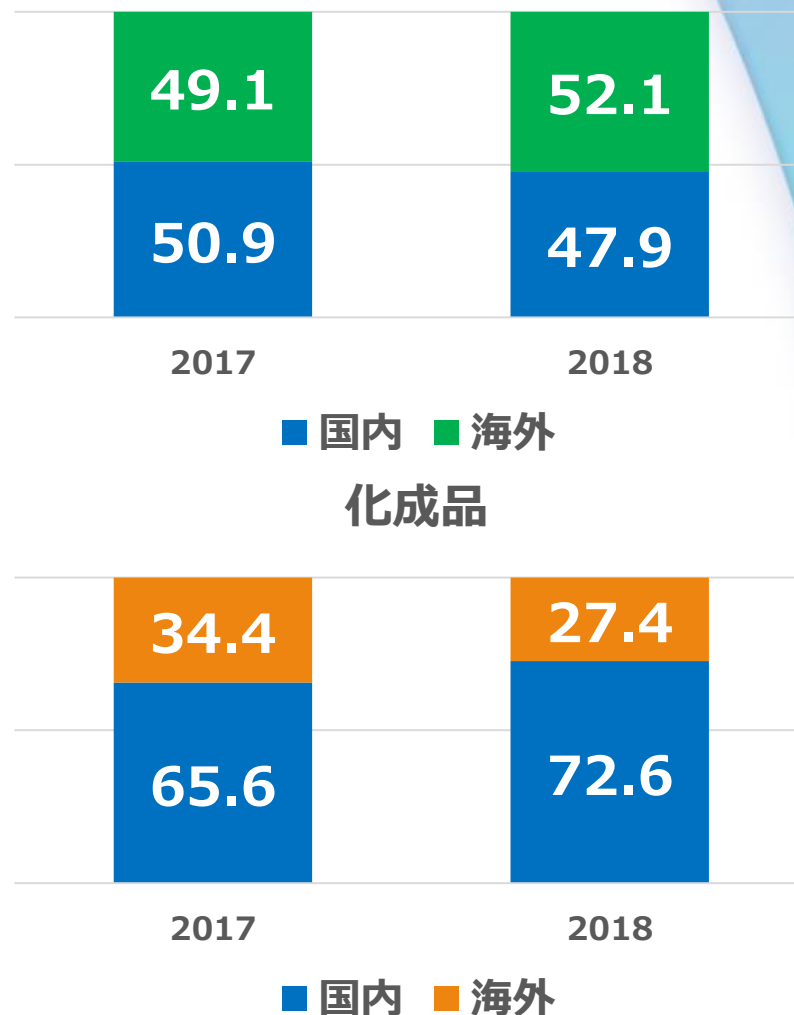
連結子会社による新規事業の増加

国内外売上高比率

連結売上高



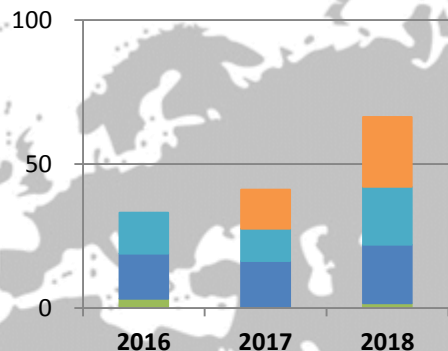
農薬及び農業関連



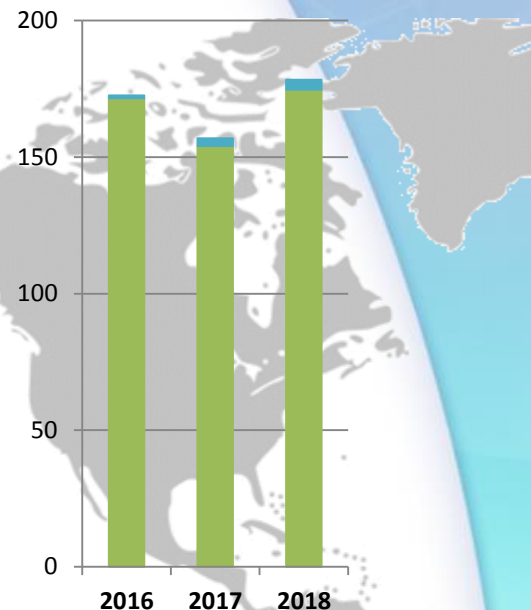
海外地域別・種類別売上高 (農薬及び農業関連)

(億円)

欧州

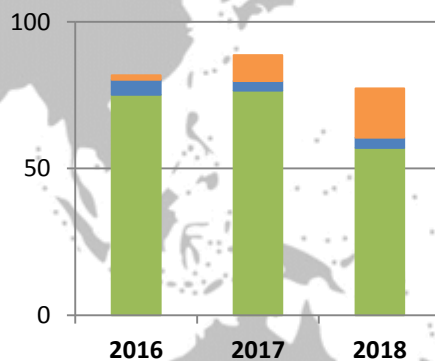


北米

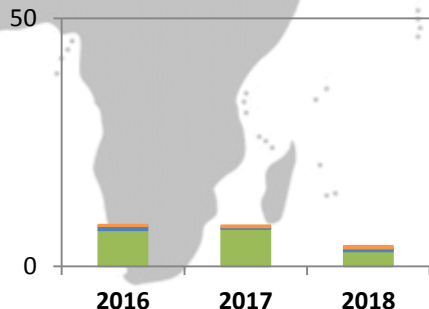


アジア・オセアニア

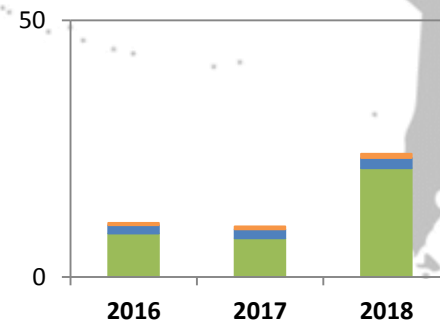
(国内除く)



中近東・アフリカ



南米

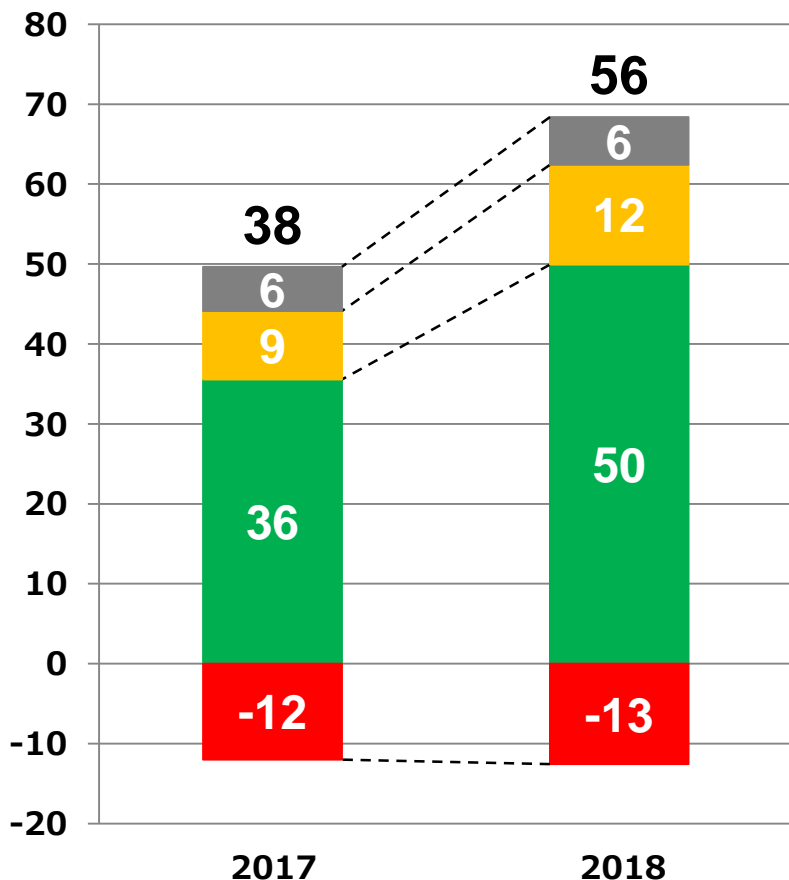


■ 除草剤
 ■ 殺菌剤
 ■ 植物成長調整剤
 ■ その他

セグメント別営業利益

連結営業利益

(億円) ■ 農薬及び農業関連 ■ 化成品 ■ その他 ■ 調整額



農薬及び農業関連 +14億 40%up

経営統合による新規事業の増加
 粗利益の増加
 アクシーブ、植物成長調整剤が好調に推移

化成品 +4億円 46%up

経営統合による化成品販売品目の増加

その他 +0.5億円 9%up

経営統合による新規事業の増加

調整額

セグメントに配分していない全社費用

- I. 市場環境
- II. 2018年10月期 実績
- III. 2019年10月期 業績予想**
- IV. 中期経営計画達成に向けて
- V. CSR活動報告
- VI. 質疑応答

2019年10月期 連結業績予想

| (億円) | 2018 実績 | 2019 予想 | 増減額 | 増減率 |
|--------|------------|------------|------|-----|
| 売上高 | 968 | 1,070 | +102 | 11% |
| 営業利益 | 56 | 61 | +5 | 9% |
| 経常利益 | 81 | 81 | 0 | 0% |
| 当期純利益* | 47 | 56 | +9 | 19% |

*親会社株主に帰属する当期純利益

2019年10月期 連結業績予想

売上高 +102億円

- 農薬及び農業関連 (+62億円)
アクシーブ剤の売上増加、PIクミアイプライベートリミテッド製造販売開始 (4月)
エフィーダ剤販売開始、導入原体による新規箱処理剤販売開始
- 化成品事業 (+36億円)
イハラニッケイケミカルタイランドを新規連結、子会社事業の売上増加

営業利益 +5億円

- 売上総利益の増加 (+18億円)
- 販売費及び一般管理費の増加 (-13億円)
試験研究費、新規子会社費用の増加

経常利益 +0億円

- 持分法投資利益、受取配当金の減少、支払利息増加 (-5億円)

当期純利益 +9億円

- 2018年度に計上した特別損益に係る損益要因の消滅

2019年度の事業活動

農薬及び農業関連事業

1. アクシーブ剤

- 北米での新混合剤上市
- 登録国拡大に向けた取り組み
- 新規登録国での販売の垂直立ち上げ、拡販

2. エフィーダ剤

- 2019年度「エフィーダ」ブランド剤の拡販
- 「エフィーダ」ブランド剤の拡充に向けた混合剤の登録取得

3. ピラキサルト剤

- 抵抗性ウンカ類に卓効を示す新規有効成分を導入し箱処理剤を開発
- 病害虫防除のニーズに合わせた3剤の上市・拡販

2019年度の事業活動

化成品

1. ウレタン事業関連

- 防水剤用ウレタン硬化剤の環境対応型製品の販売

2. 高機能性樹脂関連

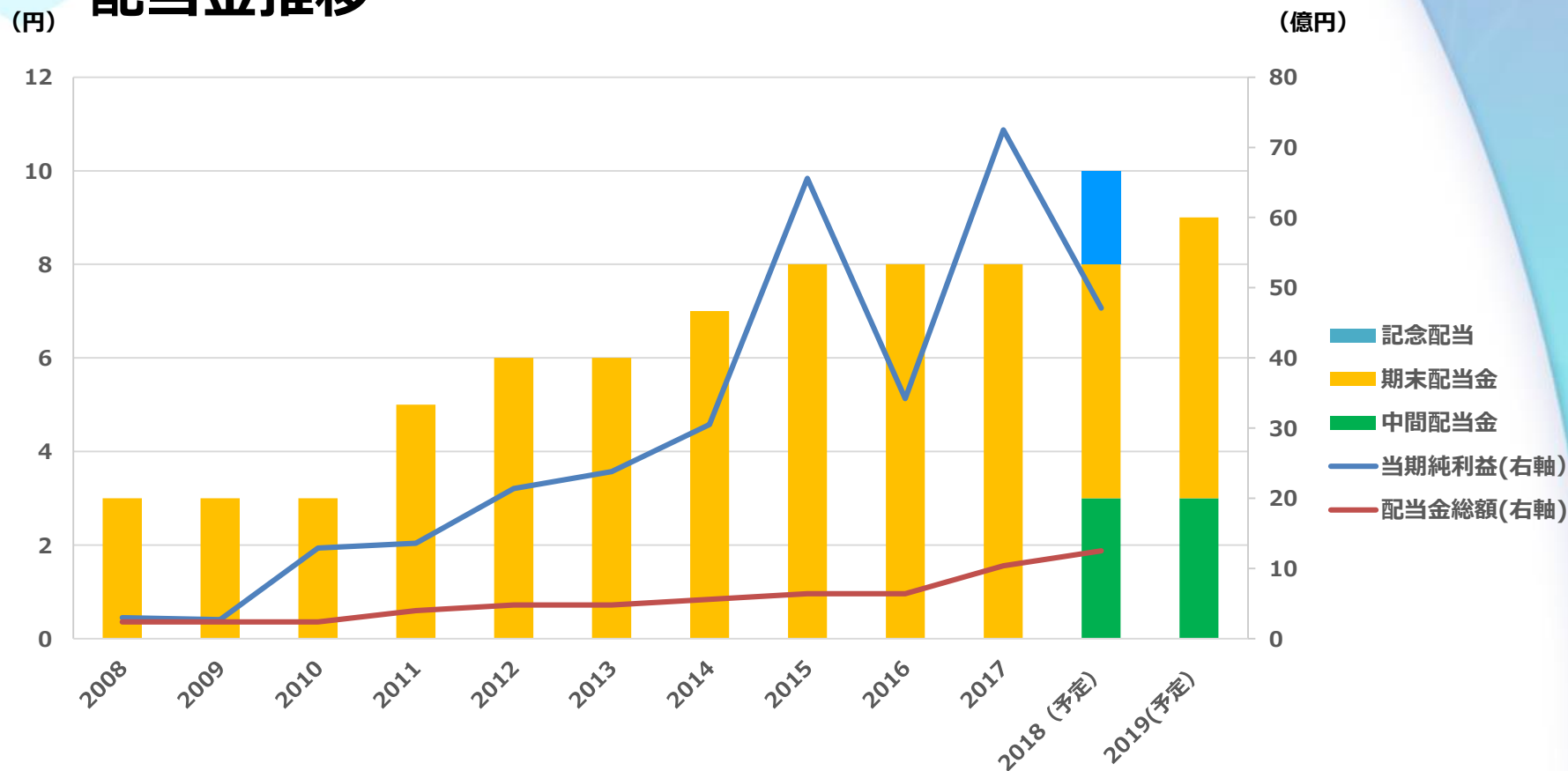
- 高機能性樹脂原料の更なる拡販
- イハラニッケイケミカルタイランドを活用したグローバル展開の加速

3. その他

- 電子部材の新規受託テーマ獲得
- 既存テーマの更なる深耕

株主還元施策

配当金推移



- ✓ 3円の間配当を実施
- ✓ 5円の期末配当を予定
- ✓ 2円の記念配当を予定



今後も **安定配当を基本方針** とした配当政策を実施

- I. 市場環境
- II. 2018年10月期 実績
- III. 2019年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画達成に向けて**
- V. CSR活動報告
- VI. 質疑応答

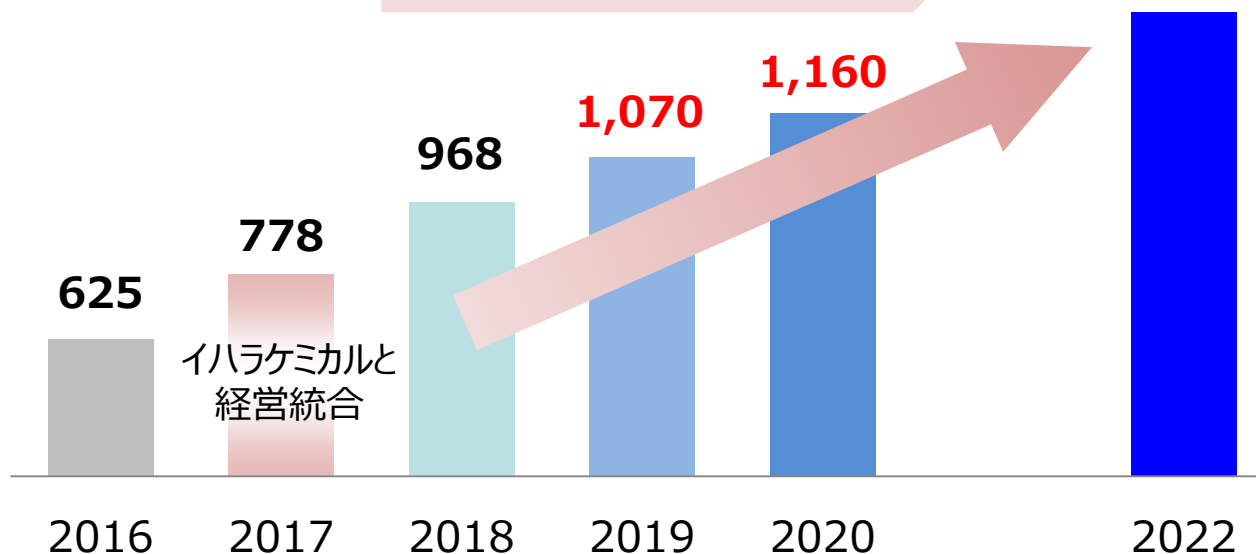
中期経営計画売上高推移

スローガン **Speed Cost Innovation**

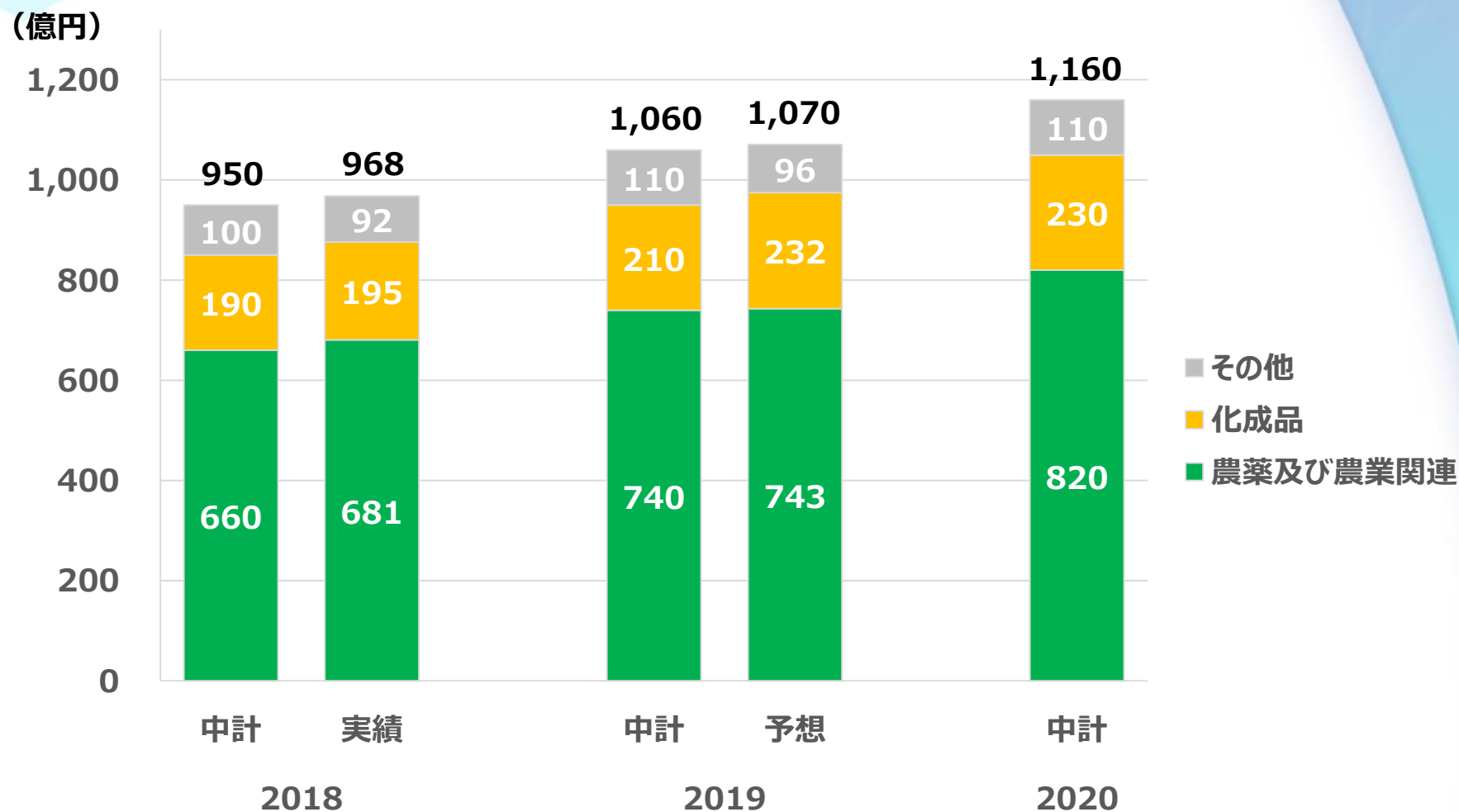
2018 中期経営計画 - Create the Future 未来を拓く -

- ・ アクシーブ販売地域拡大
- ・ エフィーダ上市
- ・ 化成品事業の成長基盤構築
- ・ M&A 事業提携

長期ビジョン
売上 1,400億円



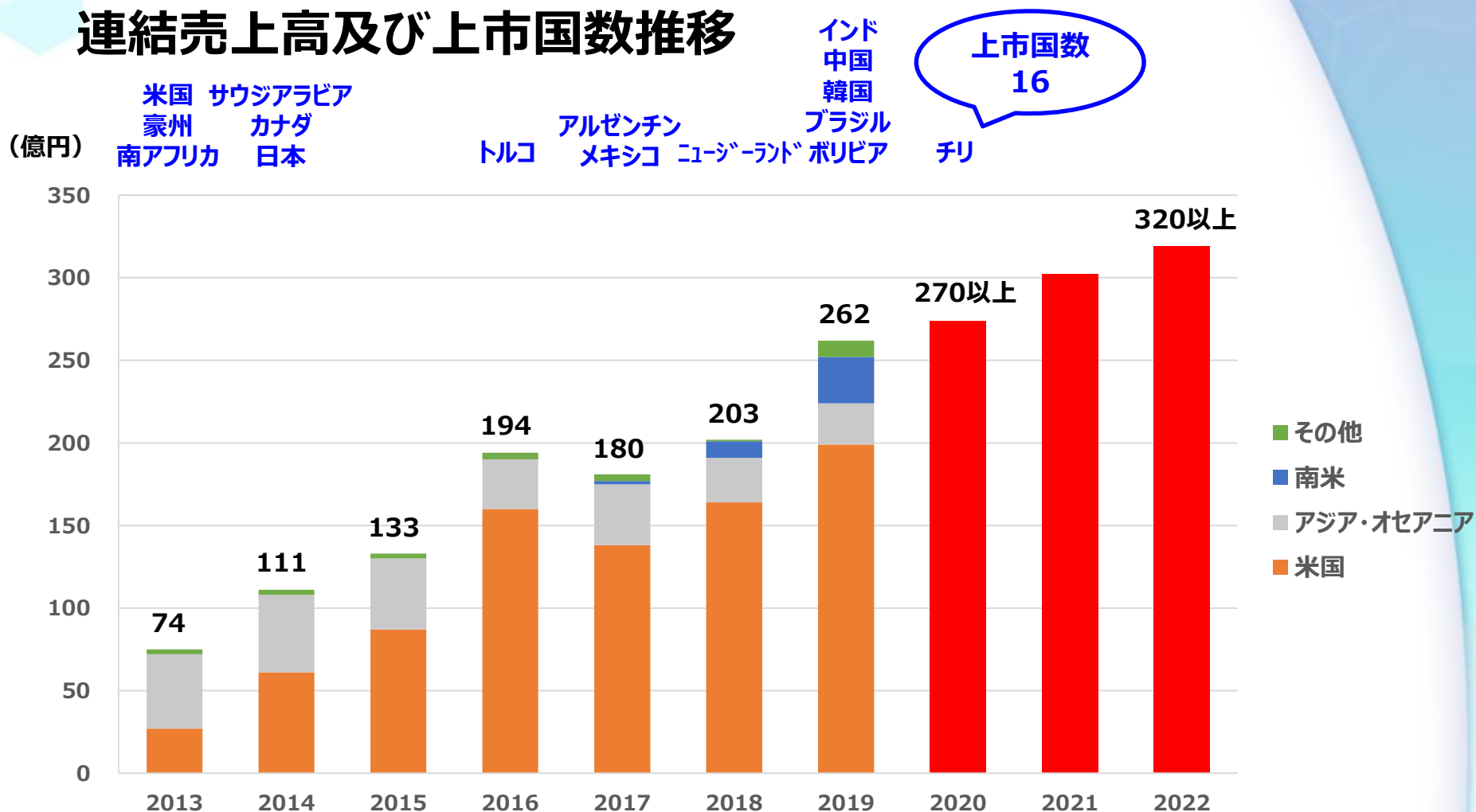
セグメント別売上高推移（中計比較）



✓ 農薬及び農業関連、化成品セグメントが好調に推移

1. アクシーブ剤について

連結売上高及び上市国数推移



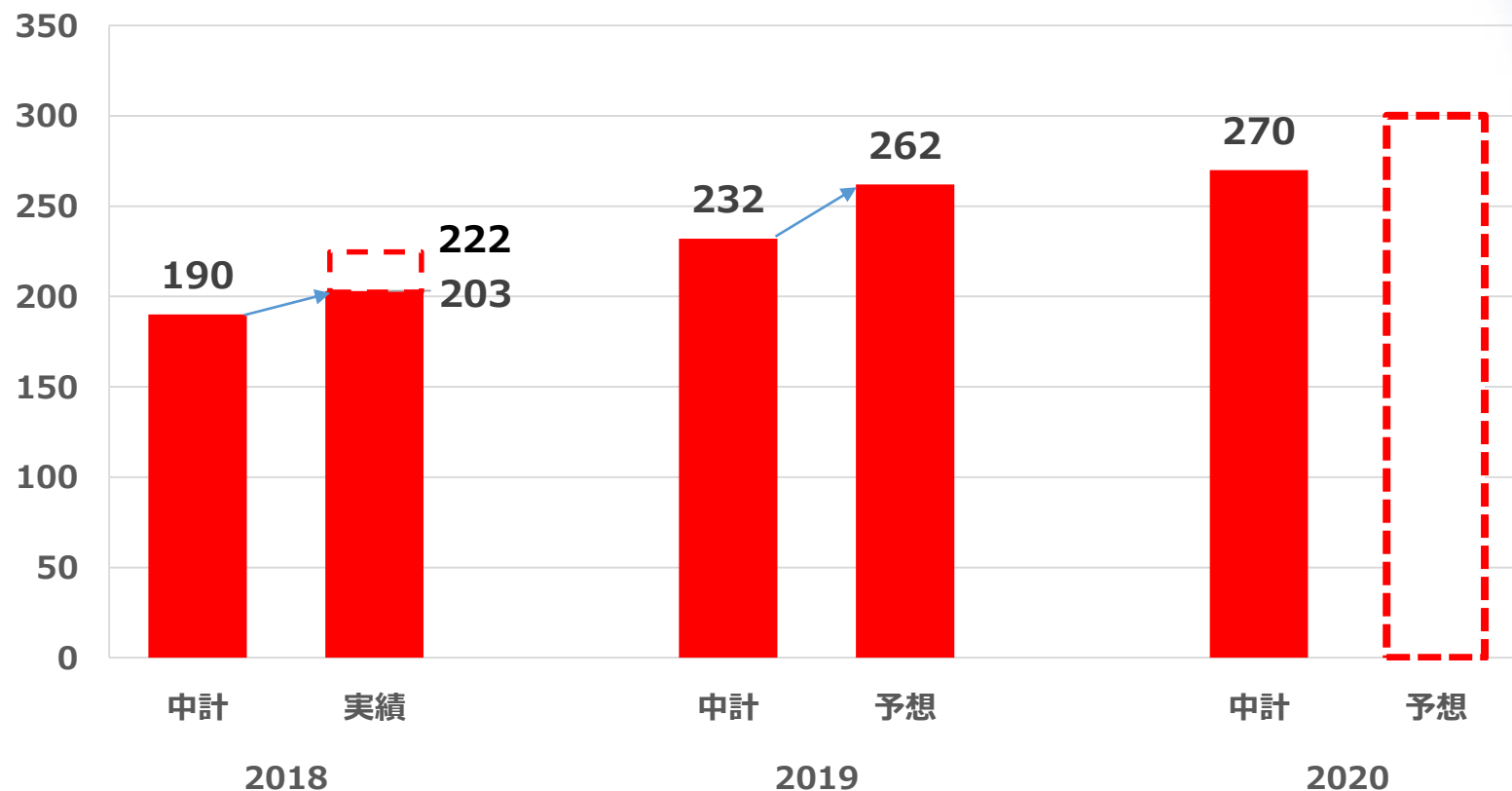
✓ 2018年実績は期ずれ等により未達（予算222億円）

✓ 2019年以降は米国・アルゼンチンおよび新規登録国で販売増加を見込む

1. アクシーブ剤について

アクシーブ剤売上高推移（中計比較）

(億円)

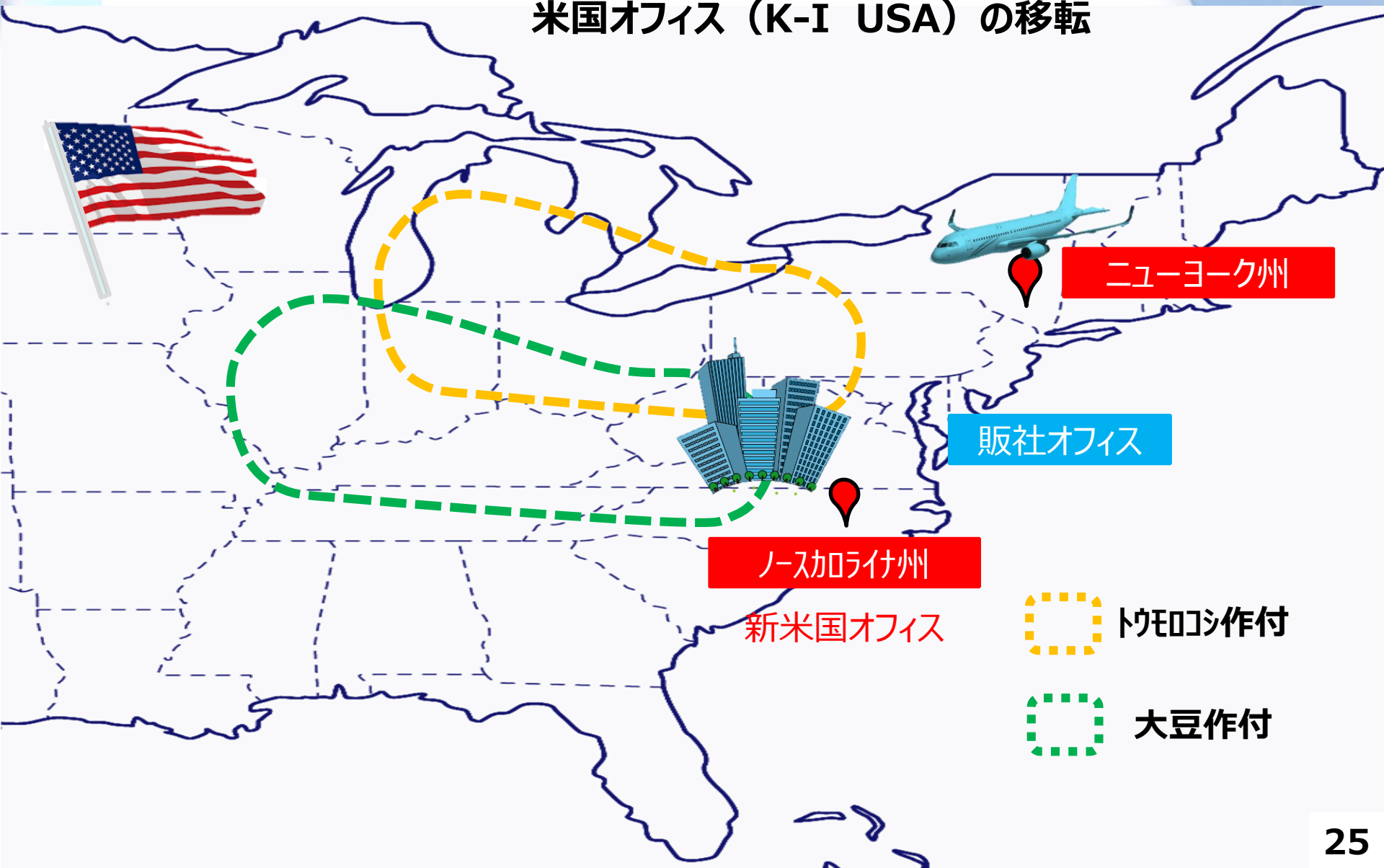


✓ 中期経営計画に対して好調に推移



米国向けアクシーブ剤の最大化に向けて

米国オフィス (K-I USA) の移転



ノースカロライナ州
新米国オフィス

販社オフィス

ニューヨーク州

- トウモロコシ作付
- 大豆作付

1. アクシープ剤について

アクシープ剤の主要市場状況

| 国 | 対象作物 | 面積 (百万ha)* | 状況 |
|--------|--------|---------------|-------------------|
| 米国 | 大豆 | 35.9 | グリホサート抵抗性雑草問題が深刻化 |
| | トウモロコシ | 33.4 | |
| アルゼンチン | 大豆 | 19.1 | グリホサート抵抗性雑草問題が拡大 |
| | 小麦 | 5.4 | |
| 豪州 | 小麦 | 12.8 | 既存剤抵抗性雑草問題が拡大 |
| インド | 小麦 | 31.8 | 既存剤抵抗性雑草問題が拡大 |
| | 大豆 | 12.0 | |
| ブラジル | 大豆 | 34.7 | グリホサート抵抗性雑草問題が顕在化 |
| | 小麦 | 11.4 | |

* 2017/2018計画値 出展:USDA World Agricultural Production等より作成

- ✓ 抵抗性雑草に高い効果
- ✓ 既存剤に比べ効果期間が長い



ニーズに合致している！

2. ノミニー剤について

PIクミアイプラベートリミテッド進捗状況

- ✓ 2017年7月設立
- ✓ 工場・倉庫の建設は完了



工場外観



倉庫内観

- ✓ インド国内登録申請中、2019年4月生産販売開始予定



関税・物流コスト削減で価格競争力を強化
潜在市場の開拓（農薬未使用地の開拓）

成長戦略 3. エフィーダ剤について

混合剤2製品を2019年販売開始！



エンペラー剤

エフィーダ、ピリミノバックメチル、ピラクロニルの3成分混合剤

✓ 水稲安全性が高い

✓ 汎用性が高い



ベルーガ剤

エフィーダ、ピリミノバックメチルの自社2成分混合剤

✓ 直播対応

✓ プライオリティ、ベツカクなど、全国のエリアマーケティングに基づいた、地域・場面に合わせた製品を開発し、2019年～登録を取得し幅広いラインナップで拡販。

3. エフィーダ剤について

欧州での開発を開始

- ✓ ムギ類、水稲に対する高い安全性
- ✓ 既存剤抵抗性雑草を含む難防除広葉雑草への高い効果

| | | |
|------|------------|-------------|
| 対象作物 | ムギ類 | 水稲 |
| 対象地域 | 全土（55百万ha） | 南部（0.5百万ha） |

Certis Europeとの開発販売契約を締結

✓2025年～2026年での登録・上市を予定



4. ピラキサルト剤について

- ✓ 全国農業協同組合連合会とデュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社が開発したウンカ類に卓効を示す新規有効成分。
- ✓ クミアイ化学では病害虫防除のニーズに合わせた3剤を開発
- ✓ 九州をメインターゲットとして2019年度から販売開始



坪枯れ



ウンカ

| 品名 | 分類 | 対象 |
|---------------|--------|---------------------------|
| ゼクサロンパディート箱粒剤 | 殺虫剤 | ウンカ類、チョウ目、甲虫目 |
| フルスロトル箱粒剤 | 殺虫・殺菌剤 | ウンカ類、チョウ目、甲虫目 いもち病、紋枯病 |
| アンコール箱粒剤 | 殺虫・殺菌剤 | ウンカ類、チョウ目、甲虫目 いもち病 |

導入品による商品構成強化

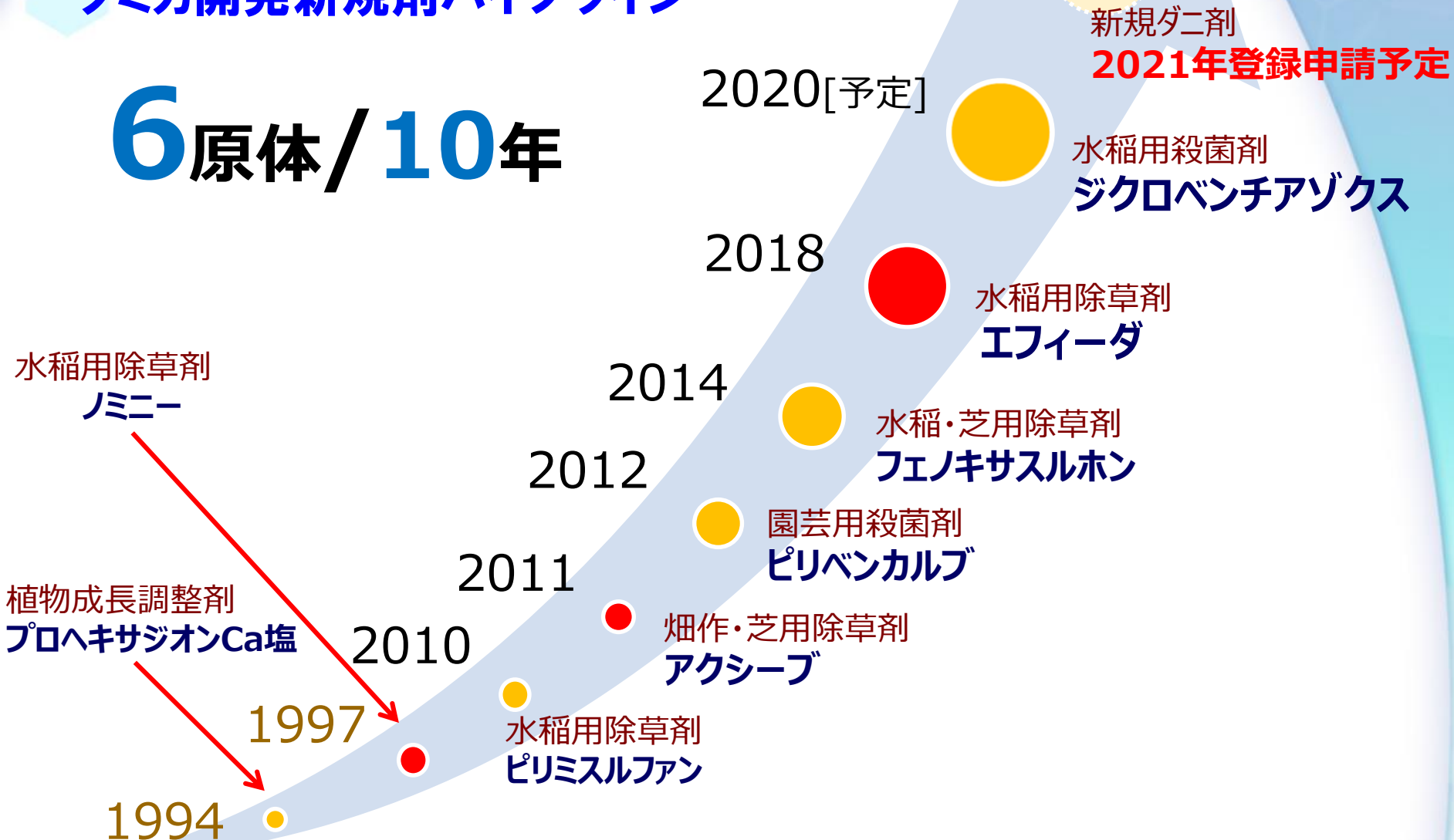
| 品名 | 分野 | 分類 | 有効成分 | 上市年度 |
|----------------------------|-----------------|--------|-------------------------|------|
| ルーチンFS | 水稲種子処理 | 殺菌剤 | イソチアニル | 2017 |
| キラップシードFS | 水稲種子処理 | 殺虫剤 | エチプロール | 2017 |
| ミネクトスター顆粒水和剤 | 水稲箱灌注処理 | 殺虫剤 | シアントラニリプロール ピメトロジン | 2017 |
| コラトップ豆つぶ | 水稲水面施用 | 殺菌剤 | ピロキロン | 2017 |
| ワイドパンチ豆つぶ | 水稲水面施用 | 殺虫・殺菌剤 | メトミノストロビン エチプロール | 2017 |
| どさんこスター水和剤 | 畑作（北海道） | 殺菌剤 | マンゼブ フェンブコナゾール | 2017 |
| ビームパディート箱粒剤 | 水稲箱処理剤 | 殺虫・殺菌剤 | トリシクラゾール シアントラニリプロール | 2018 |
| ナエファインフロアブル ナエファイン粉剤 | 水稲箱灌注処理 培土混和 | 殺菌剤 | ピカルブトラゾクス | 2018 |
| トライKフロアブル | 水稲茎葉散布 | 殺虫・殺菌剤 | テブフロキン エチプロール | 2018 |
| テプロスフロアブル | 茶 | 殺菌剤 | テブフロキン | 2018 |
| パレード15フロアブル | 果樹 | 殺菌剤 | ピラジフルミド | 2018 |
| ビーラム粒剤 | 畑作土壌処理 | センチュウ剤 | フルオピラム | 2018 |
| ダニコングフロアブル ダブルフェースフロアブル | 果樹・野菜 | ダニ剤 | ピフルブミド | 2018 |

✓他社開発剤を導入することで商品ポートフォリオを拡充

成長戦略 5. 自社開発新規剤の推進

クミカ開発新規剤パイプライン

6原体 / 10年



各原体の年は初登録年を示す

成長戦略 6. 化成品事業

ファインケミカルの強化

クミアイ化学工業

- 防水剤用ウレタン硬化剤事業
- 受託合成事業

イハラニッケイ化学工業

- クロロトルエン・クロロキシレン誘導体事業

ケイ・アイ化成

- 高耐熱樹脂原料（ビスマレイミド類）事業
- 産業用薬品事業

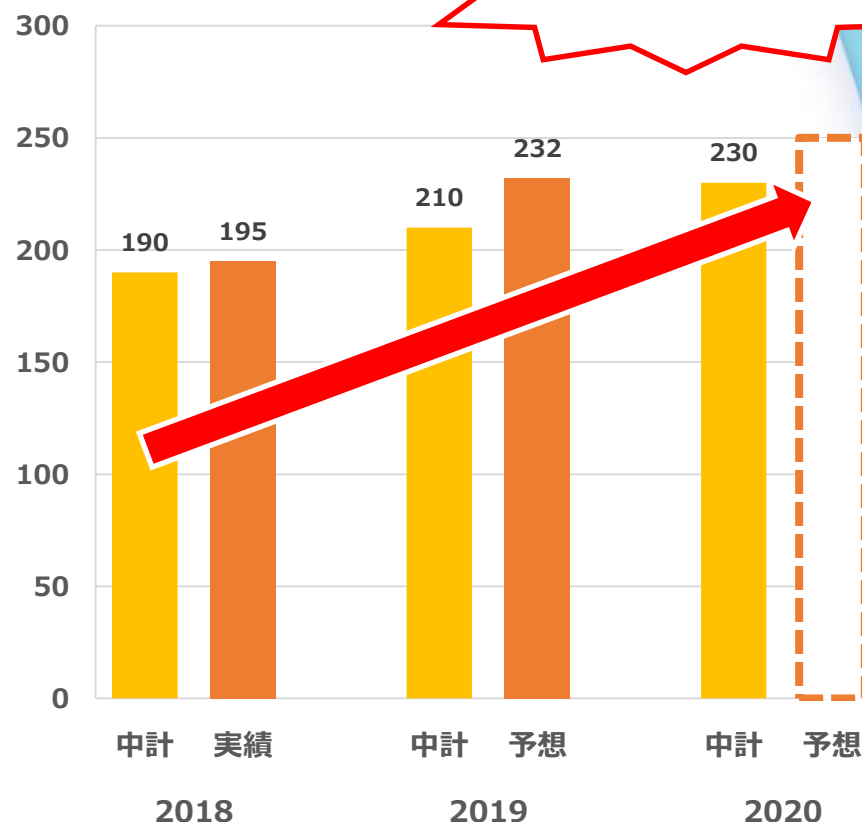
イハラ建成工業

- 発泡スチロール事業

理研グリーン

- 産業用薬品事業

(億円)



第2の柱へ!

成長戦略 6. ファインケミカルの強化

化成品事業トピック

イハラニッケイケミカルタイランド

- 2018年9月4日工場稼働開始（タイ王国ラヨン県）
- アラミド繊維原料の競争力強化（年間生産能力4,000t）
- 第2期として生産品目拡充に向けた増設を予定



ケイ・アイ化成

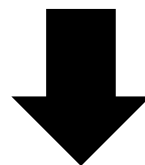
- 耐熱樹脂原料（ビスマレイミド類）国内シェアトップ
- 新設マルチプラント（2016年～）による幅広い製品構成
- 独自技術を用いたバイオ・産業用薬品



来期目標達成に向けて

中期経営計画初年度となる2018年度の目標を達成!

| | 売上高 | 営業利益 |
|--------------|-------|------|
| 2018年10月期末予想 | 950億円 | 46億円 |
| 2018年10月期末実績 | 968億円 | 56億円 |

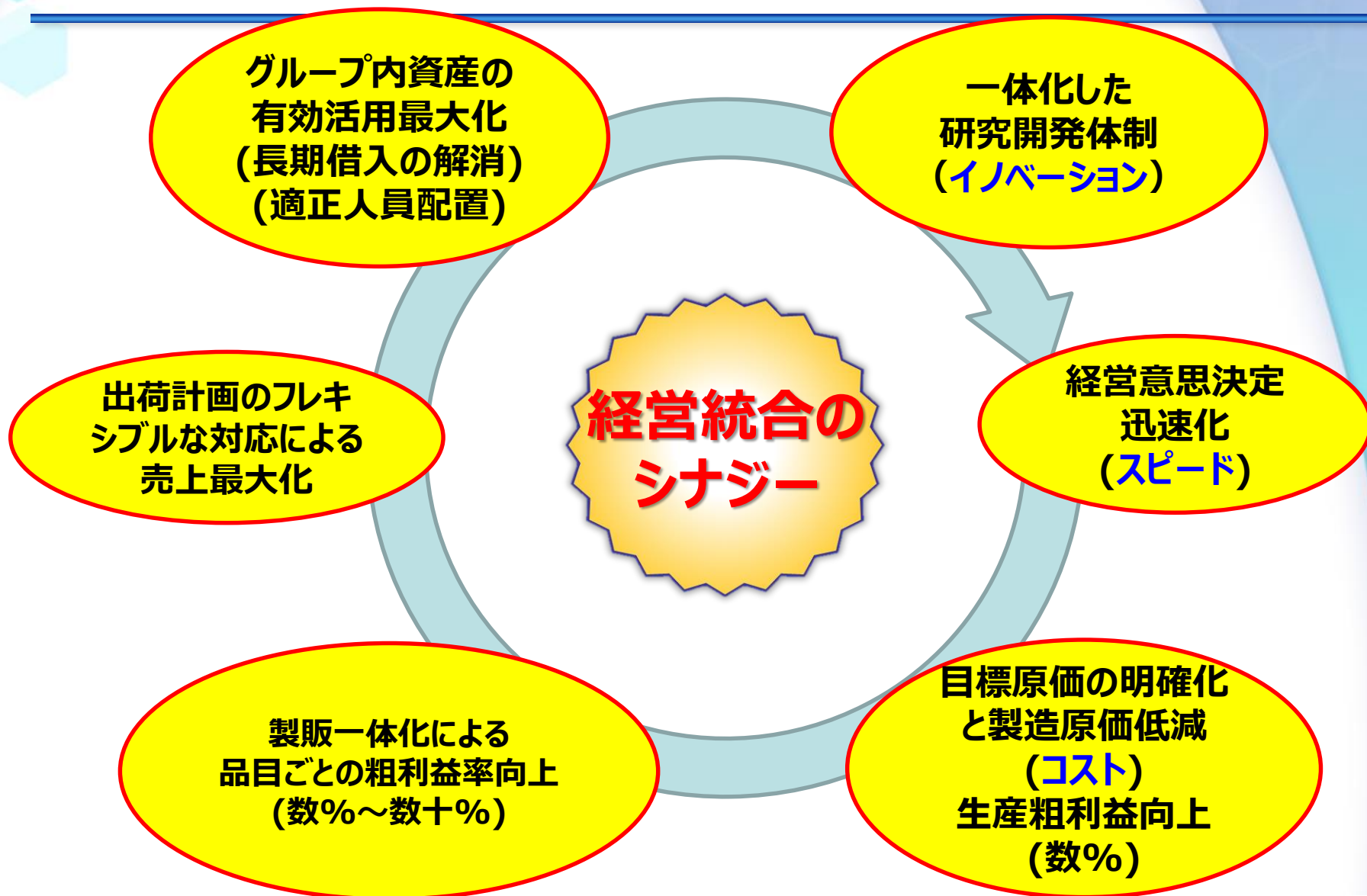


2019年度1,000億円企業へ!

| | 売上高 | 営業利益 |
|------------|---------|------|
| 2019年10月期末 | 1,070億円 | 61億円 |

- ✓ 農薬及び農業関連事業：確実な国内販売と海外市場の成長
- ✓ 化成品事業：独自技術を活用した高成長事業の強化・推進

経営統合によるシナジー効果サイクル



-
- I. 市場環境
 - II. 2018年10月期 実績
 - III. 2019年10月期 業績予想
 - IV. 中期経営計画達成に向けて
 - V. CSR活動報告**
 - VI. 質疑応答



2018年度活動報告

どんぐりプロジェクト®

- 2018年4月に3回目の植樹活動を実施
- 育樹活動を継続

どんぐりプロジェクト®は東京ガスの登録商標です



学生懸賞論文

- 第7回学生懸賞論文を実施



いのちと自然を守り育てること
私たちの変わらぬ永遠のテーマです。

クミエ化学工業は、いのちと自然を守り育てるのテーマのもと、地球規模の課題である「食料の確保」および「環境の保護」に貢献できる事業を創出して、社会発展に努めています。安心・安全な食品生産に資し、豊かな自然環境を未来の世代に継ぐため、私たちが行っています。

代表取締役社長 小池好智

クミエ化学工業株式会社
〒110-8512 東京都台東区板橋2-5-11 TEL: 03-5822-9936 <http://www.kumiai-chem.co.jp>



第7回 学生懸賞論文募集

農業の未来
これからの農業を支える

募集期間 50万円 賞金総額 20万円

受付期間 6/27-10/31

クミエ化学工業株式会社

せんがまち棚田保全活動

- 静岡県菊川市の棚田保全活動団体に賛助

地域との関わり

- 地域環境美化活動等



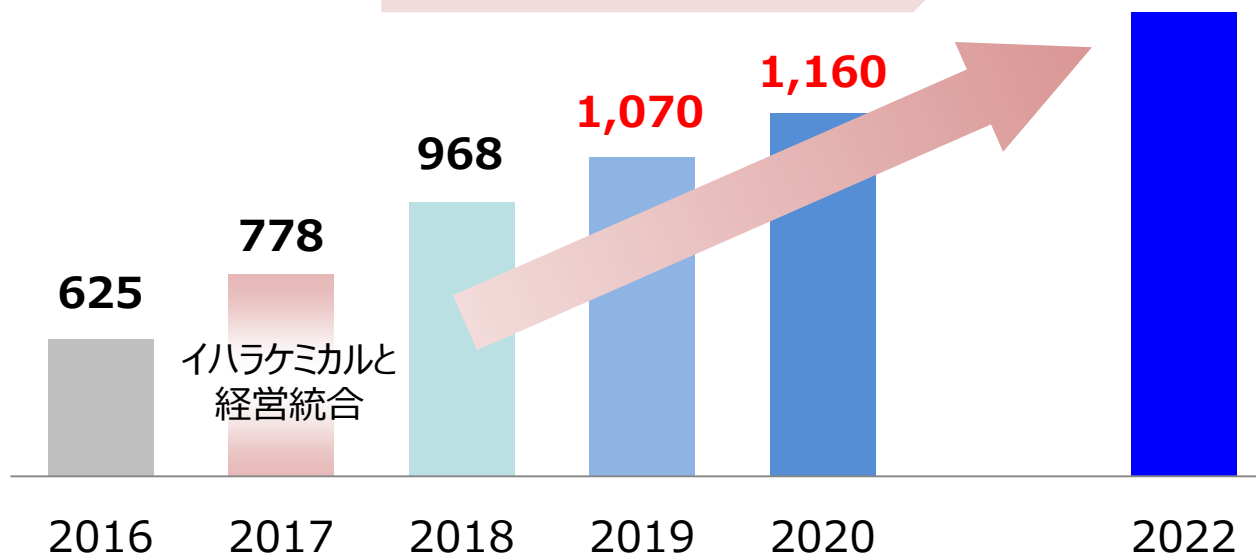
中期経営計画売上高推移

スローガン **Speed Cost Innovation**

2018 中期経営計画 - Create the Future 未来を拓く -

- ・ アクシーブ販売地域拡大
- ・ エフィーダ上市
- ・ 化成品事業の成長基盤構築
- ・ M&A 事業提携

長期ビジョン
売上 1,400億円



おかげでさまざまクミカは70周年

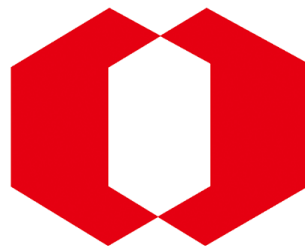
- 1949年6月 清水市柑橘同業組合から庵原農薬株式会社設立
- 1959年4月 国産農薬第1号の開発
- 1964年11月 非水銀系農薬「キタジン」の開発
- 1965年11月 「イハラケミカル工業(株)」の発足
- 1968年10月 東亜農薬との合併「クミアイ化学工業(株)」の誕生
- 1969年9月 稲作用大型除草剤「サターン」の開発
- 2000年9月 「豆つぶ剤」の開発
- 2011年9月 畑作用大型除草剤「アクシーブ」の開発
- 2017年5月 イハラケミカルとの合併「新生クミアイ化学工業(株)」の誕生
- 2019年6月 **クミアイ化学工業(株)創立70周年**

ご清聴ありがとうございました。

自然に学び 自然を守る



自然に学び 自然を守る



フミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>

クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 総務人事部

TEL: 03-3822-5036

FAX: 03-3823-6830

メールでのお問い合わせはホームページより
<http://www.kumiai-chem.co.jp/inquire/>

弊社IRサイトもご覧ください <http://ir.kumiai-chem.co.jp/>